

# 2007年度 理事長:杉山茂之

スローガン

## 更なる飛躍の出航(とき)に 創ろう 心の時代 築こう 誇りある静岡(まち)

基本方針

1. 効率的で効果的な財務運営と活性化した組織づくり
2. 「とうかい号」を通じて活気溢れるLOMづくり
3. 心と心が通い合う会員同士の絆づくり
4. 「まつり」を通して積極的なまちづくりへの貢献
5. 「感謝」の気持ちを伝える青少年教育
6. 「まちづくり」の新たなネットワークづくりと対外情報発信システムの構築
7. LOM力の増強とリーダー資質の向上
8. 新たに築くLOM・ひとづくり



第二代理事長  
杉山茂之

所信要約

統合初年度は、それぞれの青年会議所において歴史や伝統を大切にしながらも全てゼロベースで創ってきました。本年は、初年度創り上げてきたものを更に進化・発展させていくために様々な角度から見直しを行い、新LOMにとって一番ふさわしく効果的な運営システムを創ります。第34回「とうかい号」の事務局を担当し、この事業を「活気溢れるLOMづくり」の大きなチャンスと捉え、メンバー丸となって取り組みます。また、この事業を通して、メンバー同士の更なる絆を深めていきます。JIC三信条の一つであるフレンドシップ(友情)を、全てのメンバーで育み、「心のコミュニケーション」を通して会員相互に強い「絆」を築くことができる会員交流事業を行います。「まつり」はそのまちの歴史や文化そのものであり、市民がまちに対する郷土愛を再確認する絶好の機会です。「まつり」に積極参加することで地域愛、郷土愛が更に高められるような活動を展開し、活気ある静岡青年会議所を市民に力強く発信していきます。2006年に開催された「しずおか未来学園」はこれからの地域教育を考える上で、子供たちに自分の将来に大きな「夢」を持つことの大切さを伝えた非常に重要な事業でした。本事業を新LOMの継続事業として、今後も継続的に実施できる強固な基盤を創ってまいります。市民の「まちづくり」への参加意識を高める事業を展開します。本事業が「まちづくり」の新たなネットワークとなり、これからの地域教育において大きな一歩になることを目標として活動していきます。そのための拡大活動には、メンバー丸となって取り組みます。



事業・例会

1. 1月度第一例会「新年例会」～更なる成長のために～ 小林真由美委員長、廣瀬康人室長
2. 1月度第二例会「会員拡大例会」 杉山雅彦委員長、佐藤光雄室長
3. 2月度第一例会「通常総会」 佐塚二郎委員長、南秀克室長
4. 2月度第二例会「広報例会」 久保田太輔委員長、内田典典室長
5. 3月度第一例会「中部5 JIC合同例会」 白坂元昭委員長、南秀克室長
6. 4月度第一例会「静岡まつり」～紅蓮の大炎上～ 岡村仁委員長
7. 4月度第二例会「とうかい号」～総決起例会～  
影山昌弘委員長、土屋安彦委員長、肥田渉委員長、松本雅博室長
8. 5月度第一例会「講師例会」 藤原一薫委員長、佐藤光雄室長
9. 6月度第一例会「とうかい号」出迎え例会 佐野博美委員長
10. 6月度第二例会「記念例会」～納涼例会～ 杉山善志雄委員長、廣瀬康人室長
11. 7月度第一例会「選挙例会・通常総会」 佐塚二郎委員長、南秀克室長
12. 8月度第一例会「選挙例会」 佐塚二郎委員長、南秀克室長
13. 8月度第二例会「ブロック会員大会」 白坂元昭委員長、南秀克室長
14. 9月度第二例会「未来学園例会」～しずおか未来学園～ 杉山輝光委員長、長島秀親室長
15. 9月度事業 「しずおか未来学園」親子の絆、次代創造～過去・現在・そして未来～  
杉山輝光委員長、長島秀親室長 【富士登山】
16. 10月度事業「しずおか未来学園」ファーマードリーム2007 次代創造～誇りある未来のために～  
杉山輝光委員長、長島秀親室長
17. 10月度第一例会「リーダー資質向上委員会」 藤原一薫委員長、佐藤光雄室長
18. 10月度第二例会「まちづくり政策例会」 西尾浩二委員長、内田典典室長
19. Voice of 静岡 市民討議会 西尾浩二委員長、内田典典室長
20. 11月度第一例会「卒業例会」 小林真由美委員長、廣瀬康人室長
21. 12月度第一例会「通常総会」 佐塚二郎委員長、南秀克室長
22. 12月度第二例会「クリスマス家族会」 杉山善志雄委員長、廣瀬康人室長

どんな  
一年か

「魅力ある青年会議所の創造 誇りある静岡(まち)の実現」を基本理念に青少年事業をはじめ様々な運動を展開しました。しずおか未来学園では「感謝することの大切さ」をテーマに「ほのぼの農園コース」と「富士山登頂コース」に分かれ、事業目的である「参加した全ての子供たちが自分を囲む環境や人々によって生かされていること」を実感してもらうことができました。本事業が更なる進化を遂げ「明るい豊かな社会の実現」に向かって大きな一歩となることを心より期待します。地域に住む市民の声を出来る限り行政に反映させ、地域行政を一部の限られた方だけに任せきりにしない市民参加型手法「プラヌマックスツェレ」を参考にし、「Voice of しずおか市民討議会」を発足させました。同様の市民討議会は、東京青年会議所の主催により2005年に千代田区で初めて行われて以来広がりを見せており、静岡JICでは年内初の試みとして「ごみ問題」をテーマに34名の市民の参加を得て開催されました。参加市民からも市民討議会の意義を賞賛する声、市民討議会が広く普及するとの期待が多く寄せられました。未来学園も、Voice of しずおかも継続事業(静岡JICの意義ある活動)として現在の礎となりました。



六月度記念例会



Voice of しずおか 市民討議会



Voice of しずおか 市民討議会 フォーラム



未来学園 ほのぼ農園